

浜田市では、これまでも米軍機と思われる航空機の低空飛行訓練及び、それに伴う騒音被害等について、市民から数多くの情報が寄せられております。

貴職あてには、これまで、再三にわたり適切な措置を求める要請書を提出しているところではありますが、さる1月15日正午頃、本市旭町で、米軍機が飛行した際に、大変激しい爆音を伴う衝撃波を観測し、民家の窓ガラスが破損する被害が発生しました。

また、職員による聞き取りの結果、町内全域において激しい爆音と衝撃波が確認されており、町内の小中学校からは、窓ガラスが震え地震のような激しい爆音であったとの声や、あさひ認定こども園では、飛行機が墜落したかと思われるほどの衝撃を感じ、園児からは、「園を壊さないでほしい」との訴えがあったなど、これまで経験したことのない、大変激しい爆音で、支所に設置している騒音測定器は88.6dBでありました。

このことについて、島根県や防衛省中国四国防衛局を通じて、米軍側に確認したところ、『岩国基地所属の航空機が、この時間と場所で飛行していた』との回答を得ております。

その他にも、休日や昼夜を問わず断続的に飛行音が続き、極度のストレスを受け心身や生活に悪影響を与えて続け、我慢の限界をはるかに超え、とても許容できる状況にはありません。

市民の安全安心を守る立場から、このような事態は誠に遺憾であり、本件事案に迅速かつ適切に対応するとともに、市民の不安解消と安全確保のため、今後、住民の平穏な生活を乱す米軍機による飛行訓練が行われないよう、強く要請します。

2013年2月6日

アメリカ合衆国

駐日本国特命全権大使 ジョン・V・ルース 様

日本国 島根県浜田市長 宇津 徹 男

浜田市では、これまでも米軍機と思われる航空機の低空飛行訓練及び、それに伴う騒音被害等について、市民から数多くの情報が寄せられております。

貴職あてには、これまで、再三にわたり適切な措置を求める要請書を提出しているところではありますが、さる1月15日正午頃、本市旭町で、米軍機が飛行した際に、大変激しい爆音を伴う衝撃波を観測し、民家の窓ガラスが破損する被害が発生しました。

また、職員による聞き取りの結果、町内全域において激しい爆音と衝撃波が確認されており、町内の小中学校からは、窓ガラスが震え地震のような激しい爆音であったとの声や、あさひ認定こども園では、飛行機が墜落したかと思われるほどの衝撃を感じ、園児からは、「園を壊さないでほしい」との訴えがあったなど、これまで経験したことのない、大変激しい爆音で、支所に設置している騒音測定器は88.6dBでありました。

このことについて、島根県や防衛省中国四国防衛局を通じて、米軍側に確認したところ、『岩国基地所属の航空機が、この時間と場所で飛行していた』との回答を得ております。

その他にも、休日や昼夜を問わず断続的に飛行音が続き、極度のストレスを受け心身や生活に悪影響を与えて続け、我慢の限界をはるかに超え、とても許容できる状況にはありません。

市民の安全安心を守る立場から、このような事態は誠に遺憾であり、本件事案に迅速かつ適切に対応するとともに、市民の不安解消と安全確保のため、今後、住民の平穏な生活を乱す米軍機による飛行訓練が行われないよう、強く要請します。

2013年2月6日

アメリカ合衆国

海兵隊 岩国航空基地司令官

ジェームス・C・スチュワート大佐 様

日本国 島根県浜田市長 宇津徹男

防衛大臣 小野寺 五典 様

米軍機による低空飛行訓練中止の要請について

浜田市では、これまでも米軍機と思われる航空機の低空飛行訓練及び、それに伴う騒音被害等について、市民から数多くの情報が寄せられております。

貴職あてには、これまで、再三にわたり適切な措置を求める要請書を提出しているところではありますが、さる1月15日正午頃、本市旭町で、米軍機が飛行した際に、大変激しい爆音を伴う衝撃波を観測し、民家の窓ガラスが破損する被害が発生しました。

また、職員による聞き取りの結果、町内全域において激しい爆音と衝撃波が確認されており、町内の小中学校からは、窓ガラスが震え地震のような激しい爆音であったとの声や、あさひ認定こども園では、飛行機が墜落したかと思われるほどの衝撃を感じ、園児からは、「園を壊さないでほしい」との訴えがあったなど、これまで経験したことのない、大変激しい爆音で、支所に設置している騒音測定器は88.6dBでありました。

このことについて、島根県や防衛省中国四国防衛局を通じて、米軍側に確認したところ、『岩国基地所属の航空機が、この時間と場所で飛行していた』との回答を得ております。

その他にも、休日や昼夜を問わず断続的に飛行音が続き、極度のストレスを受け心身や生活に悪影響を与えて続け、我慢の限界をはるかに超え、とても許容できる状況にはありません。

市民の安全安心を守る立場から、このような事態は誠に遺憾であり、本件事案に迅速かつ適切に対応するとともに、市民の不安解消と安全確保のため、米軍機の飛行訓練の実態を把握し、住民の平穏な生活を乱す米軍機による飛行訓練が行われないう、米軍関係当局に対し、さらに強力な対応を行うよう改めて強く要請します。

2013年2月6日

島根県浜田市長 宇津 徹 男

外務大臣 岸田 文雄 様

米軍機による低空飛行訓練中止の要請について

浜田市では、これまでも米軍機と思われる航空機の低空飛行訓練及び、それに伴う騒音被害等について、市民から数多くの情報が寄せられております。

貴職あてには、これまで、再三にわたり適切な措置を求める要請書を提出しているところではありますが、さる1月15日正午頃、本市旭町で、米軍機が飛行した際に、大変激しい爆音を伴う衝撃波を観測し、民家の窓ガラスが破損する被害が発生しました。

また、職員による聞き取りの結果、町内全域において激しい爆音と衝撃波が確認されており、町内の小中学校からは、窓ガラスが震え地震のような激しい爆音であったとの声や、あさひ認定こども園では、飛行機が墜落したかと思われるほどの衝撃を感じ、園児からは、「園を壊さないでほしい」との訴えがあったなど、これまで経験したことのない、大変激しい爆音で、支所に設置している騒音測定器は88.6dBでありました。

このことについて、島根県や防衛省中国四国防衛局を通じて、米軍側に確認したところ、『岩国基地所属の航空機が、この時間と場所で飛行していた』との回答を得ております。

その他にも、休日や昼夜を問わず断続的に飛行音が続き、極度のストレスを受け心身や生活に悪影響を与えて続け、我慢の限界をはるかに超え、とても許容できる状況にはありません。

市民の安全安心を守る立場から、このような事態は誠に遺憾であり、本件事案に迅速かつ適切に対応するとともに、市民の不安解消と安全確保のため、米軍機の飛行訓練の実態を把握し、住民の平穏な生活を乱す米軍機による飛行訓練が行われないう、米軍関係当局に対し、さらに強力な対応を行うよう改めて強く要請します。

2013年2月6日

島根県浜田市長 宇津 徹 男